

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念にも組み込んでいる内容ですが、日常生活を通しての地域社会との交流を支援しています。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のケアから理念を作りだし、意味を周知してもらえよう心がけています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族を通じた、地域との交流、日々生活の中で自然と行える交流の在り方を重点に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方が菜園で作った野菜や果物をいただいたり、親しくお付き合いはしていますが行事等には招待できていません。	○	施設の情報を回覧板などで知っていただき、少しずつ地域に溶け込めるようにしていきたいです。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の参加は希望したものの地域の関係で入会はできません。地域活動に於いては、市役所主催の体操教室に参加しています。		

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか、の話し合いは行っているが実践には至っていません。	○	地域の行事等を十分理解し近隣の高齢者等とも助け合い気軽に立ち寄っていただけるよう取り組んでいきたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の報告と改善など、ありのままを職員に通達し改善点など話し合いました。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市、地域の方々、ご家族の皆様にも率直な意見や感想、情報をいただき全職員に通達し、評価への取り組みに活かしています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に連絡を取り、ホーム内の近況報告を行っており、あるゆる指導もいただいています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在必要な方はいませんが、職員間で話し合い理解しているかと努めています。	○	地域権利擁護事業や成年後見制度について勉強会等開催し、職員全員が理解できるよう取り組んでいきたいです。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々、高齢者虐待防止について話し合いを行ってしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には施設の方針、利用内容を説明し、利用者がホームでの生活に合うか十分な話し合いをし、理解・納得をいただいた上で入居されています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から小さなことでも聞いていける間柄を重視し希望や願いを聞いたり、ご家族へも面会時等に聞き工夫しています。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一回、生活状態・内容・健康状態・金銭管理等を便りにまとめ写真も同封し送付しています。頻回に面会に来られるご家族へはその都度口頭で報告、遠方の方へは電話、FAX等でも報告しています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時には、職員との会話がもてるよう心がけています。また、匿名でも意見ができるよう意見箱を設置しています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回カンファレンスを開催し、各職員からの意見や提案を聞くようにしています。また気づいたことはその都度、連絡、報告し話し合いを行っています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家族が出来ない場合の通院介助や行事の際は、職員を多めに配置する等、勤務調整をしています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を維持できるよう運営者とも十分に話し合い、環境が大きく変化しないよう心がけています。		

項目	取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	特に計画は立てていないが、職員の能力に応じて指導し、通常の業務の中で、配置やシフトの組み合わせによって他職員から学べるよう工夫し、内外の研修も受けられるよう配慮しています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣でのネットワーク作りはできていないのが現状です。	○ 交流する機会をもてるよう努めたいです。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は日頃より管理者、職員へ声をかけ環境改善、業務の向上についての意見交換、相談等を実践しています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者と管理者は些細な情報でも共有し合うよう努めています。また、職員には行事、入居者に関する担当を振り分けて各自が探求心を持てるように努めています。	○ 月1回のカンファレンスだけでなく、勉強会も随時開催していきたいです。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	一人ひとりの状態により違うが、何を望み何をしてもらいたいかを本人からできるだけ多くの情報を聴いています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談、事前面接、契約を通して、過去、現在、将来を話しあう取り組みをしています。	

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回の相談時から状態把握に努め、面接等を行い本人、家族が必要とされていることを見極めるように努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者とコミュニケーションをとれるよう配慮し必要に応じて家族にも協力していただき一人ひとりの性格に合った生活ができるよう工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人がどこまでできるのか等、やりすぎないように努めています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族には月一回の便りのほかに必要に応じて連絡を取り合い、常に情報を共有するようにしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の生活歴や人間関係を把握し良い関係が保てるよう配慮しつつ面会時には本人と家族が気がねなくゆったりと過ごしてもらえるよう配慮しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の面会等あれば、例外を除き、気軽に立ち寄っていただいたり気兼ねなく過ごしていただけるよう配慮しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が関わりを持てるように職員が間に入り配慮しています。		

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了した後、継続的な関わりを必要としています利用者や家族はいないが、いつでも相談にのれることをホームを離れる際、説明をしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人、ご家族から今までの生活歴や希望、不安について話し合っています。また、職員間でも共有できるよう努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中から生活歴やなじみの暮らし方、生活環境をよみとり家族からも聞き、介護につなげています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	記録を見やすくし、個々にあった介護を提供できるよう努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、関係者から十分に情報をもらえるよう話し合い、介護計画につなげています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月に1回の見直しを行っている。また、状態に変化があれば直ちに会議を開き新たに計画を作成しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づいたことは放置せず、職員間で情報の共有を行えるようにしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望、急な外出などにも臨機応変に対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現状では協働するまでは至っておらず、今後、運営推進会議で支援のあり方を検討していきたいです。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用しています方はいないです。	○	今後、他のケアマネジャーとの話し合いの場をもちたいと考えています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、権利擁護などが必要な利用者はいない。今後、必要な状況に応じて協議していきたいです。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご本人やご家族からの了承をいただいたかかりつけ医をお願いしており、定期的に受診、必要時や隔週にて往診に来ていただいている。また総合病院とも協定書を結んでおり適切な医療が受けられています。		

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症についての医療面について話し合い必要に応じて診断、指導、治療が受けられるよう支援を行っています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医師との連絡が多く、看護職との協働はできていないです。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は頻回に面会に行き、不安を和らげられるよう支援を行い、主治医、家族と相談をしながら早期退院の為の対応をしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期については入所時に家族からの希望を聞くようにしています。家族とは要所での話し合いは行っています。	○	繰り返しの話し合いには至っていないので、定期的に意見交換できるように努めていきたいです。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所においての重度化や終末期に関する指針があり、その中で「できること、できないこと」を見極めています。かかりつけ医と連携しできる限り家族と本人の意思を尊重しながら支援に取り組んでいます。が、具体的な検討や準備までには至っていません。	○	軽度の時期から検討、話し合いをし、本人、家族の要望等を聞き繰り返し話し合っていけるよう努めていきたいです。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境が変わることに対する不安を少しでも解消できるよう家族、及びケア関係者への情報提供を行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応を行っています。記録等については、関係者以外が手に取れない場所にて保管、管理を行っています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の行動、言葉、他の入居者との会話等を観察し何を望んでいるかを感じとり自己決定し納得してもらえよう支援をしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別ケアの重要性を職員間で話し合い、支援の取り組み方を可能な限り行えるようにしています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	意思決定ができる方には、衣服の選択を都度行ってもらっています。理美容に関しても、本人の希望に添えるようにしています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理はよく手伝っていただいています。配膳等も自主的に行っていただいています。可能な限り、食べたい時に食べていただく支援にも取り組んでいます。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、喫煙者、飲酒者はご家族の希望で愛飲していない方を含めいらっしゃいません。今後、該当者が入居される時は都度、検討していきます。また、特定の方になりますが、おやつは外出時にご本人の意思を持って購入していただいています。	

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の状況、声掛け等には十分な配慮を心がけています。羞恥心や自尊心を第一に考えた支援が職員間でできています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	行事以外での曜日の指定はしていません。希望があれば、入浴していただいています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中、活動量をできるだけ増やし夜間良眠してもらえるよう支援を行っています。中には昼寝が必要な方もおられるが、起きている際にはできるだけ何らかの活動、レクリエーション等を行ってもらっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの得意分野を生活歴や日々の会話の中から引き出し、支援を行えるように努めています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な方には、外出時に於いて支払いをしていただいています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の買い出しでは、声掛けし外出を積極的に行っています。要望に応じて、散歩等も行っています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ここに行きたいと希望が出ることは、ほとんどないですが、行事などでいつもとは違う雰囲気を味わっていただけのように努めています。また、ご家族との外出は前もって教えていただき準備できるよう、ご家族のご協力を得ながら取り組んでいます。		

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話には、出いただけるよう支援しています。ご本人からの電話は要望があれば、ご家族のご協力を得て電話してもらっています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・知人等の面会時は、自室やリビングでお茶を飲んで過ごしていただいています。職員は訪問された方々に気兼ねなく過ごしていただけるように配慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	個々の状況に応じて事故防止の対応を常に話し合い目配り、気配りをし、事故防止に取り組んでいます。また、身体拘束の必要があれば、ご家族に同意書を頂いた上で最小限の対策をしています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	常に解放はしていないものの、入居者の気持ちに立って、出たい時には出してもらえるように支援しています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日常生活の中で利用者の所在確認を徹底し、安全に配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の能力に応じて危険を未然に防止できるよう配慮しています。刃物や針等も使用中や使用後の確認を十分行っています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一部のマニュアルは作成し職員と共有し話し合っています。	○	事故防止マニュアルを作成し運営者、管理者、職員とで共有し十分に話し合っていきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時マニュアルを作り、職員と話し合いをしましたが、定期的には行えていません。	○	定期的に行うように取り組んでいきたいです。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防署の協力、指導のもと避難訓練を行っています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	予測されるリスクは家族と話し合い家族の希望とホームの方針と合わせて話し合っているが、一部の家族とは詰めて話し合えていないです。	○	全ての家族と詰めて話し合えるよう努めたいです。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常時、状態の観察を行い、わずかな変化や異変に注意し異常が見られる際には職員間で情報を共有し主治医、管理者に連絡を取れるようにしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についての目的、用法、用量を把握しており、個々の医師の指示どおり服薬できるよう支援しています。症状の変化が見られた場合は、早期に医師に報告し、対応しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材や乳製品を多めに摂取してもらったり、便秘時には主治医の指示のもと、必要に応じて薬で対応を行っている。また可能な限り排便確認を行っている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨きの実施をしています。できている方でも、仕上げ磨きを手伝うなど抵抗のない限り、清潔に努めています。義歯の方は夕食後、入れ歯洗浄剤を活用しています。できない方は介助しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は、おおよそのカロリー計算をしています。水分量は記録に記入しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の知識を共有し、日々の生活の中で手洗い、うがい、消毒を励行しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所の清潔には常に注意しており、食器類は乾燥機にかけ、布巾等は、マメに交換しています。買い出しにおいても新鮮なものを選ぶよう配慮しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	表札は手作りの物をかけ玄関前には花を植えたり灯籠(施設名入り)を置き、温かさが伝わるよう配慮しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに装飾品を変えたり、花を生けて季節感を出しています。共有スペースにあるテレビの音にも注意したり眩しい場所にはレースのカーテンで工夫しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーや家具の配置を工夫し、空間作りをして思い思いに過ごせるよう工夫しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施しています内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた家具や生活用品、趣味の小物を持って来てもらえるよう、ご家族に協力をお願いしています。	○	もう少し、その人らしい部屋づくりに取り組んでいきたいです。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時、天気の良い暖かい日には窓を開け十分な換気を行っています。冷暖房もこまめにつけたり消したりし、室内を適温に保つよう心がけています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室等に手摺りをつけており、建物内はバリアフリーです。できるだけ安全に移動できるようにしています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	手作りの表札を作ったり、視力の悪い方には居室にのれんをかけ、自分の居室が分かるよう工夫しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭で職員と一緒に花を植えたり、水やりをしたり、ウッドデッキで洗濯物を干していただいたり、日向ぼっこ等をし、活動できるようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

苦手な事よりもできる事により力を入れています。また、職員間において自分本位の介護をするのではなく、待つ（見守る）ことのできるゆとり介護を心がけ日々実践しています。